

平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成30年8月8日  
上場取引所 東

上場会社名 レオン自動機株式会社  
 コード番号 6272 URL <http://www.rheon.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田代 康憲  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務統括部長 (氏名) 宮岡 正 (TEL) 028-665-1111  
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	8,477	32.1	954	17.1	1,014	20.3	575	△0.9
30年3月期第1四半期	6,419	11.7	814	107.5	843	108.8	580	145.4

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 756百万円( 4.8%) 30年3月期第1四半期 721百万円( -%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	21.50	21.46
30年3月期第1四半期	21.70	21.67

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	31,295	22,606	72.1	842.84
30年3月期	30,991	22,279	71.8	830.60

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 22,569百万円 30年3月期 22,242百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	14.00	—	16.00	30.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	14.00	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,000	6.6	1,990	0.9	2,000	△1.8	1,500	8.2	56.02
通期	28,600	2.5	3,480	△3.2	3,490	△5.9	2,500	△7.1	93.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期1Q	28,392,000株	30年3月期	28,392,000株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	1,613,619株	30年3月期	1,613,600株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期1Q	26,778,395株	30年3月期1Q	26,773,303株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想の数値は、当社が現在入手している情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後様々な要因によって、本業績予想の数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(追加情報) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景とした個人消費の緩やかな回復、好調な企業収益を背景とした設備投資の増加、海外経済の回復を背景とした好調な輸出の継続など、全体としては緩やかな回復基調で推移しました。

海外経済におきましては、米国では雇用環境の改善持続、個人消費の増加、減税効果などにより、景気の拡大が継続しました。欧州では、堅調な個人消費により緩やかな拡大が継続しました。アジアでは、中国で固定資産投資の鈍化など景気減速の兆しがみられましたが、輸出は依然として好調を維持しており安定的に推移しました。

このような状況の中、当社グループは2018年度を初年度とする中期経営計画を策定し、『変革への挑戦』を合言葉に、4つの重点施策である「生産体制の強化」「販売体制の強化」「人材育成」「業務環境整備」に取り組んでおります。

当社グループが市場とする食品業界は、消費者ニーズの高度化、多様化に伴う商品のバラエティー化、人手不足を背景とした省人化・省力化などの課題をかかえております。また、食の安全性、健康志向の増大、環境問題など市場のニーズが多様化しております。変化する市場環境や経営環境に対応するため、市場動向を調査し、レオロジー（流動学）を基礎とする当社独自の開発技術の商品化およびソフト技術の充実により、食品機械のより一層の標準化推進と、安全性の向上を図るとともに、多様な消費者ニーズに対応できる商品群を国内および海外の食品業界へ提案してまいりました。

当第1四半期連結累計期間における売上高は8,477百万円（前年同四半期比32.1%増）、営業利益は954百万円（前年同四半期比17.1%増）、経常利益は1,014百万円（前年同四半期比20.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は575百万円（前年同四半期比0.9%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、セグメント別の売上高は、連結相殺消去後の数値を、セグメント利益は、連結相殺消去前での本社一般管理費を除いた数値を記載しております。

## 食品加工機械製造販売事業(日本)

日本国内では、食品成形機、修理その他の売上は減少しましたが、製パンライン等、仕入商品の売上は増加しました。

製パンライン等増加の主な要因は、省人化・省力化、品質アップ、バラエティー化、生産能力増強などに対応した大型ラインの販売が好調だったことがあげられます。

その結果、外部顧客に対する売上高は4,655百万円(前年同四半期比74.6%増)となりました。

セグメント利益は1,396百万円(前年同四半期比89.7%増)となりました。

## 食品加工機械製造販売事業(北米・南米)

アメリカ地域では、食品成形機、製パンライン等、修理その他の売上が減少し、現地通貨ベースでは、前年同四半期比9.5%減少となりました。

円ベースでは、円換算に使用するUSドルの期中平均レートが111円09銭から109円07銭と1.8%の円高となったため、外部顧客に対する売上高は358百万円(前年同四半期比11.1%減)となりました。

セグメント損失は6百万円(前年同四半期はセグメント利益17百万円)となりました。

#### 食品加工機械製造販売事業(ヨーロッパ)

ヨーロッパ地域では、食品成形機、修理その他の売上は増加しましたが、製パンライン等の売上が減少したため、現地通貨ベースでは売上高が前年同四半期比10.6%減少となりました。

食品成形機増加の主な要因は、クノーデル、スコッチエッグ、クッキーなどの生産用として火星人の売上が増加したことがあげられます。円ベースでは、円換算に使用するユーロの期中平均レートが122円19銭から130円06銭と6.4%の円安となったため、外部顧客に対する売上高は600百万円(前年同四半期比4.9%減)となりました。

セグメント利益は16百万円(前年同四半期比73.4%減)となりました。

#### 食品加工機械製造販売事業(アジア)

アジア地域では、製パンライン等、仕入商品の売上は減少しましたが、食品成形機、修理その他の売上が増加したため、外部顧客に対する売上高は766百万円(前年同四半期比7.3%増)となりました。

食品成形機増加の主な要因は、中華まん、月餅、中華菓子、ミニパンなどを生産する火星人の販売が好調だったことがあげられます。

セグメント利益は349百万円(前年同四半期比41.9%増)となりました。

#### 食品製造販売事業(北米・南米)

アメリカ地域では、オレンジベーカリーの売上高が現地通貨ベースで、前年同四半期比7.0%増加となりました。

主な要因は、新規顧客へのフィリング入りパイ製品などの売上が増加したことがあげられます。円ベースでは、円換算に使用するUSドルの期中平均レートが111円09銭から109円07銭と1.8%の円高となったため、外部顧客に対する売上高は1,967百万円(前年同四半期比5.0%増)となりました。

セグメント損失は336百万円(前年同四半期はセグメント利益184百万円)となりました。主な要因は、貸倒引当金繰入額545百万円を計上したことにより、販売費及び一般管理費が増加したことがあげられます。

#### 食品製造販売事業(日本)

日本国内では、(有)ホシノ天然酵母パン種の外部顧客に対する売上高は129百万円(前年同四半期比1.1%減)となりました。

主な要因は、中小ユーザー向けのパン種の販売が減少したことがあげられます。

セグメント利益は22百万円(前年同四半期比28.5%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて22百万円増加し、16,368百万円となりました。現金及び預金が1,512百万円減少しておりますが、これは法人税や配当金の支払いなどによるものであります。受取手形及び売掛金が1,256百万円増加しておりますが、これは第1四半期の売上高の増加によるものであります。商品及び製品が118百万円増加しておりますが、これは第2四半期に機械を出荷することによるものであります。また、貸倒引当金が178百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて282百万円増加し、14,927百万円となりました。有形固定資産が248百万円増加しておりますが、これはオレンジベーカリーの建設仮勘定の増加などによるものであります。また、投資その他の資産が35百万円増加したことなどによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて304百万円増加し、31,295百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて140百万円増加し、7,144百万円となりました。支払手形及び買掛金が361百万円増加しておりますが、これは第2四半期に出荷する機械の購入部品、材料購入などの増加によるものであります。未払費用が690百万円増加しておりますが、これは7月に支給する賞与引当金を未払費用に振り替えたことなどによります。前受金が564百万円減少しておりますが、これは第1四半期に売上を計上した売掛金に充当したことによるものであります。また、賞与引当金が383百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて164百万円減少し、1,543百万円となりました。これは、長期借入金が63百万円減少、繰延税金負債が99百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて23百万円減少し、8,688百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて327百万円増加し、22,606百万円となりました。これは、利益剰余金が147百万円増加、為替換算調整勘定が185百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結会計期間の売上高は概ね当初予想通りに推移しております。平成30年5月9日発表の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,386,472	4,874,427
受取手形及び売掛金	3,985,448	5,242,272
商品及び製品	3,404,740	3,523,320
仕掛品	1,715,824	1,633,500
原材料及び貯蔵品	792,470	836,557
その他	261,332	279,642
貸倒引当金	△199,848	△21,061
流動資産合計	16,346,439	16,368,659
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,909,633	13,063,830
減価償却累計額	△8,362,836	△8,492,340
建物及び構築物(純額)	4,546,796	4,571,489
機械装置及び運搬具	7,361,608	7,512,812
減価償却累計額	△5,524,557	△5,668,510
機械装置及び運搬具(純額)	1,837,050	1,844,302
工具、器具及び備品	1,889,399	1,908,620
減価償却累計額	△1,725,201	△1,742,150
工具、器具及び備品(純額)	164,198	166,469
土地	4,709,318	4,731,497
リース資産	100,103	100,103
減価償却累計額	△75,864	△78,805
リース資産(純額)	24,238	21,297
建設仮勘定	561,134	756,279
有形固定資産合計	11,842,736	12,091,336
無形固定資産	235,488	233,888
投資その他の資産		
投資有価証券	1,054,575	1,041,048
退職給付に係る資産	1,339,027	1,339,070
その他	179,093	963,163
貸倒引当金	△5,832	△741,370
投資その他の資産合計	2,566,864	2,601,912
固定資産合計	14,645,089	14,927,137
資産合計	30,991,529	31,295,796

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,377,036	1,738,250
短期借入金	932,886	860,475
リース債務	10,797	9,272
未払費用	428,742	1,119,159
未払法人税等	664,408	641,087
前受金	2,163,502	1,599,390
賞与引当金	735,996	352,182
役員賞与引当金	34,100	14,800
その他	656,788	810,372
流動負債合計	7,004,258	7,144,991
固定負債		
長期借入金	985,135	921,184
リース債務	15,571	13,976
繰延税金負債	168,214	68,742
再評価に係る繰延税金負債	398,310	398,310
訴訟損失引当金	73,278	73,278
資産除去債務	16,520	16,550
その他	51,127	51,883
固定負債合計	1,708,158	1,543,927
負債合計	8,712,417	8,688,918
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,351,750	7,351,750
資本剰余金	7,060,727	7,060,727
利益剰余金	14,409,627	14,556,982
自己株式	△781,548	△781,592
株主資本合計	28,040,557	28,187,868
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	308,333	297,641
土地再評価差額金	△5,531,033	△5,531,033
為替換算調整勘定	△663,812	△477,934
退職給付に係る調整累計額	88,095	93,364
その他の包括利益累計額合計	△5,798,416	△5,617,962
新株予約権	36,971	36,971
純資産合計	22,279,112	22,606,878
負債純資産合計	30,991,529	31,295,796

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	6,419,568	8,477,980
売上原価	3,374,222	4,615,861
売上総利益	3,045,346	3,862,118
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	115,444	89,215
荷造運搬費	171,990	215,261
貸倒引当金繰入額	△14,879	545,849
販売手数料	129,465	132,326
給料及び手当	683,124	696,146
賞与引当金繰入額	192,169	200,812
役員賞与引当金繰入額	9,600	14,800
退職給付費用	60,140	48,235
旅費及び交通費	114,080	98,997
減価償却費	59,835	58,676
研究開発費	183,888	247,102
その他	525,956	560,479
販売費及び一般管理費合計	2,230,816	2,907,904
営業利益	814,529	954,214
営業外収益		
受取利息	957	2,722
受取配当金	12,426	11,493
物品売却益	2,932	4,108
為替差益	2,937	16,541
保険解約返戻金	—	2,869
電力販売収益	7,515	7,673
その他	15,866	26,461
営業外収益合計	42,636	71,868
営業外費用		
支払利息	4,517	6,544
固定資産除却損	4,339	21
電力販売費用	3,854	3,542
その他	506	1,114
営業外費用合計	13,216	11,222
経常利益	843,948	1,014,860
税金等調整前四半期純利益	843,948	1,014,860
法人税、住民税及び事業税	366,393	602,949
法人税等調整額	△103,368	△163,898
法人税等合計	263,024	439,050
四半期純利益	580,924	575,809
親会社株主に帰属する四半期純利益	580,924	575,809

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	580,924	575,809
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34,940	△10,692
為替換算調整勘定	85,344	185,877
退職給付に係る調整額	20,201	5,269
その他の包括利益合計	140,486	180,454
四半期包括利益	721,410	756,264
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	721,410	756,264

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	食品加工機械製造販売事業				
	日本	北米・南米	ヨーロッパ	アジア	小計
売上高					
(1)外部顧客への売上高	2,665,812	403,365	631,171	714,800	4,415,149
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	849,440	37,717	—	—	887,157
計	3,515,252	441,082	631,171	714,800	5,302,307
セグメント利益	736,234	17,023	60,942	246,591	1,060,793

	食品製造販売事業			合計
	北米・南米	日本	小計	
売上高				
(1)外部顧客への売上高	1,873,703	130,715	2,004,418	6,419,568
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	23	23	887,180
計	1,873,703	130,738	2,004,441	7,306,749
セグメント利益	184,762	30,991	215,753	1,276,546

(注) 各区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米・南米……………アメリカ合衆国、カナダ
- (2) ヨーロッパ……………ドイツ、イギリス
- (3) アジア……………中国、韓国、香港、台湾

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,276,546
セグメント間取引消去	△69,192
本社一般管理費(注)	△392,824
四半期連結損益計算書の営業利益	814,529

(注) 本社一般管理費は、当社の管理部門に係る費用であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	食品加工機械製造販売事業				
	日本	北米・南米	ヨーロッパ	アジア	小計
売上高					
(1)外部顧客への売上高	4,655,466	358,565	600,295	766,827	6,381,155
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	758,053	5,940	—	—	763,994
計	5,413,520	364,506	600,295	766,827	7,145,149
セグメント利益又は損失(△)	1,396,662	△6,979	16,189	349,899	1,755,770

	食品製造販売事業			合計
	北米・南米	日本	小計	
売上高				
(1)外部顧客への売上高	1,967,579	129,246	2,096,825	8,477,980
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	23	23	764,017
計	1,967,579	129,270	2,096,849	9,241,998
セグメント利益又は損失(△)	△336,699	22,167	△314,532	1,441,238

(注) 各区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米・南米……………アメリカ合衆国、カナダ、メキシコ
- (2) ヨーロッパ……………ドイツ、ロシア
- (3) アジア……………中国、台湾、韓国

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,441,238
セグメント間取引消去	△67,500
本社一般管理費(注)	△419,524
四半期連結損益計算書の営業利益	954,214

(注)本社一般管理費は、当社の管理部門に係る費用であります。